

まちの話題

まちの話題をお寄せください!!
 総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110

日頃の訓練の成果を形に

第52回多久市消防団訓練大会

9月7日、曇天ながら時折日差しが射す絶好のコンディションの中、消防技術の迅速性、正確性を競う多久市消防団訓練大会を多久市陸上競技場で行いました。

来賓の牟田香副知事は「災害が起きた時だけでなく、常日頃から防災に努め、訓練している団員の皆さんはもっと讃えられるべき」と祝辞を述べ、その後団員は「小型ポンプ操法」、「ラッパ吹奏」、「自動車ポンプ操法」の順で訓練を開始。気合の入った指揮者の号令に従い、各団員は機敏かつ正確な動作に努め、市民の安全・安心を守るという崇高な使命を持った頼もしい姿を披露しました。

各種目の成績は、以下のとおりです。

- 小型ポンプ操法の部 優勝：西多久分団第2部、
2位：西多久分団第1部、3位：多久分団第2部
- ラッパ吹奏の部 優勝：西多久分団、
2位：東多久分団、3位：南多久分団
- 自動車ポンプ操法の部 優勝：西多久分団、
2位：北多久分団、3位：東多久分団



▲自動車ポンプ操法の部
優勝 西多久分団



▲ラッパ吹奏の部
優勝 西多久分団

100歳を生きるその秘訣は!

最高齢者および100歳訪問



▲100歳のお祝いを喜ぶ荒谷さんご夫婦（ケアハウスやすらぎで撮影）



▲長寿をお祝いし、ケアハウス大地で記念撮影

敬老の日を前に9月13日、市内最高齢者の梶原コマツさん（105歳）と今年度100歳になれる7人を横尾市長が表敬訪問しました。今年度、100歳以上のご長寿は市内で20人。市長からはお祝い状と花束とお祝い金を、内閣総理大臣からはお祝い状と銀杯を贈り、長寿を祝いました。

健康の秘訣は「今日の疲れは今日とること。体を動かすことが大切」と荒谷満さん（南多久町谷下）。古賀富士子さん（多久町西町）は「新聞を毎日読んで、頭を使うこと」と笑顔で話され、現役時代は警察官だった来崎博夫さんは「何でも自分のことは自分で。規則正しく生活すること」と背筋をぴんと伸ばして元気な声で話されました。

また、民生委員と市職員が、今年度101歳以上の12人と米寿（88歳）を迎えた147人へ、今後のすこやかな長寿を願い、お祝い状と敬老祝い金を手渡しました。

9/5 Fri.

中央校生徒会V&S部中多久駅前トイレ清掃ボランティア



地域での奉仕活動に取り組む中央校生徒会V&S部による中多久駅前トイレ清掃ボランティアが行われ、部員およびその他合わせて23人が参加しました。

V&S部はVolunteer&Serviceの頭文字からとられたもので、昨年より、地域での清掃活動に取り組んでいます。今年は部長の提案で、利用者数の多い駅前トイレの清掃を行い便器や壁面をはじめ、屋外の除草作業にも励みました。

V&S部部長の品川拓也さんと船津帆南さんは「日頃の感謝の気持ちを込めて清掃活動に取り組んでいます。後輩にもつなげていきたいです」と活動を振り返りました。

8/29 Fri.

日赤佐賀県支部多久市地区より中央公民館に防災釜2基配備



地域の防災力の強化につながるよう、日本赤十字佐賀県支部多久市地区より、防災釜（炊き出し用移動かまどセット）2基が多久市中央公民館に配備されました。

今回の配備は、多久市地区世帯からの寄附金の使い道として、災害時の炊き出しや、防災訓練時の活用などを想定して行われたもので、今後は災害避難所への設置も検討されています。

日赤佐賀県支部多久市地区の担当者からは「地区の行事など防災に限らずもしもの時、いざというときに備えた準備としてどんどん使ってください」と呼びかけました。